

第5回



名古屋
まちなみ
デザイン
セレクション

NAGOYA Machinami Design Selection

選 集

まちなみデザイン賞
まちなみデザイン20選



名古屋市



名古屋市長
河村 たかし



有識者懇談会 座長
中村 研一

第5回名古屋まちなみデザインセレクションによせて

昨今のコロナ禍で都市を取り巻く環境がますます厳しくなる中であっても、ナゴヤが、世界中の皆様から目的地(デスティネーション)として選ばれるよう、魅力を創出し、発信していかなければなりません。そのためにも、地域の特性を生かした良好な景観の形成が一層重要になっています。

今回のまちなみデザイン賞では、まちの歴史に光をあて、新たな価値を加えて未来へとつないでいく取組みが選ばれています。まちなみデザイン20選では、文化・歴史の薫り、大都市の活力、自然のやすらぎなど、都市の多様な魅力を実感させる風景・まちなみが選ばれています。

ナゴヤの多様な魅力の詰まった良好な景観を守り、育て、受け継いでいくためには、市民の皆様が身近な景観に関心を持ち、まちづくりに積極的に取り組んでいただくことが何より大切です。このまちなみデザインセレクションが、そのきっかけになることを願っています。

今後も市民の皆様とともに、名古屋らしさを感じる素晴らしい風景やまちなみを発掘、発信、共有する取組みを行ってまいりますので、ご理解とご協力をいただきますようお願いいたします。



中川運河

まちなみデザイン賞 審査総評 —みえないもののデザイン—

名古屋のまちを歩くと、まちなみとは改めて歴史と現在、過去と未来の対話であることがわかります。近年日本でもリノベーションが盛んになっていますが、今回のまちなみデザイン賞にも多くのリノベーションの応募がありました。もちろん歴史的建造物を保存するだけでも記憶の継続として十分に価値があるのですが、まちなみという観点から考えるとそこに新たな時代に即した価値が生み出せているかが重要な意味を持ちます。老朽化した集合住宅の改修である〈ソーネÖZONE〉、廃校になった小学校の改修である〈なごのキャンパス〉、この両者が高く評価されたのは表層のイメージのデザインではなく、むしろ社会をデザインするという高い志を具現化しているからです。みえないものをデザインする、それはまちを愛する気持ちをどのように共有するかから始まります。まちの魅力を深く掘り下げ素晴らしいマップをつくりあげた〈中小田井を『発見して、学んで、伝えよう』〉の活動に私たちは深く共感し、このような活動が多くの地域に広がってほしいと思いました。

そして今回は、名古屋市が長い年月をかけて取り組んできた中川運河再生計画が明確な成果を上げた最初の年として記憶してよいと思います。レストランと店舗の複合によって水辺の景観を巧みに取り込んだ〈パーミキュラ ビレッジ〉、運河沿いに並ぶ切妻型の倉庫の景観を再生した〈岡谷鋼機株式会社中川配送センター〉はこれからの中川運河沿いの計画の未来を期待させる、素晴らしい成果です。

残念ながら受賞にはあたりませんでした。名城公園の緑を巧みにキャンパス内に引き込み塀の無い開かれた大学を実現させた〈愛知学院大学名城公園キャンパス〉、高架下の新たな商店によってまちの連続性に配慮した〈SAKUMACHI 商店街の街づくり〉、浄水場を素晴らしい広場へと改修させた〈広見憩いの杜〉、この3点のファイナリストは落すに忍びなく私たちを最後まで悩ませたことを記しておきます。

受賞作品、そしてファイナリストを市民のみなさんが自身の目でご覧になっていただき、まちの未来を考える機会としていただけると嬉しく思います。

第5回名古屋まちなみデザインセレクションの概要

趣旨

「お気に入りの風景・まちなみ」の投稿や市民投票への参加などをきっかけとして、市民の皆さんに魅力ある景観づくりに関心をもっていただき、名古屋のまちへの愛着や誇りを高めることを期待して実施しました。

今回の特徴

まちなみデザイン賞

建築物・工作物部門、サイン・屋外広告物・屋外看板部門、景観まちづくり部門の3つの部門を設け、候補物件等を募集し、選定しました。

まちなみデザイン20選

募集テーマを設定し、Instagram、TwitterといったSNS等を用いた投稿募集を行うとともに、会場投票のほか、公式ウェブサイト内で市民投票を行い、選定しました。

流れ

まちなみデザイン賞

まちなみデザイン20選

募集

[応募数] 50件

- 建築物・工作物部門 26件
- サイン・屋外広告物・屋外看板部門 17件
- 景観まちづくり部門 7件

[募集期間] 令和2年4月20日～6月5日

[投稿数] 277件

[テーマ] 歩きたくなるまちなみ

[投稿ハッシュタグ] #名古屋のまちなみ2020

[募集期間] 令和2年4月20日～6月5日

紹介

公式ウェブサイト、
SNS (Instagram・Twitter・Facebook) 掲載
※投稿いただいた風景を随時紹介しました。

選定

公募の中から、良好な風景・まちなみに貢献している建築物・広告物・まちづくり活動等を専門家の意見を踏まえて選定しました。

名古屋まちなみデザインセレクション 有識者懇談会

- 中村 研一 | 中部大学工学部建築学科教授 (建築)
- 近藤 マリコ | プランナー・コピーライター (文化)
- 太幡 英亮 | 名古屋大学工学研究科准教授 (建築)
- 中井 孝幸 | 愛知工業大学工学部建築学科教授 (建築)
- 平井 秀和 | ピースグラフィックス代表 (デザイン)

投稿いただいた中から市民投票により、市民の皆さんのお気に入りの風景・まちなみを
選定しました。

市民投票 (投票数 計5,203票)

インターネット投票 (4,013票)

・8月25日～9月23日

会場投票 (1,190票)

・8月31日～9月1日 / 金山総合駅連絡通路橋

・9月11日～13日 / イオンモール名古屋茶屋店

表彰・発表

令和3年1月20日 (水) 公表

市公式ウェブサイト、SNS掲載

PR

選集・各種広報媒体によるPR、リーフレットの配布、市の広報媒体による広報、市役所内での常設パネル展示などにより紹介。

名古屋まちなみデザインセレクション及び名古屋都市景観賞を紹介。

名古屋市公式ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/>

SNS公式アカウント

[machinami_nagoya](https://www.instagram.com/machinami_nagoya)

[@machinami1](https://twitter.com/machinami1)

[名古屋まちなみデザインセレクション](https://www.facebook.com/machinami_nagoya)

選定された風景・まちなみ

まちなみデザイン賞

建築物・工作物部門

- 4 中川運河にぎわいゾーンの建築物群 パーミキュラ ビレッジ
- 5 中川運河にぎわいゾーンの建築物群 岡谷鋼機株式会社中川配送センター

サイン・屋外広告物・屋外看板部門

- 6 ソーネÖZONEのサイン

景観まちづくり部門

- 7 なごのキャンパス
- 8 中小田井を「発見して、学んで、伝えよう」

- 9 ファイナリスト

まちなみデザイン20選

- 12 那古野交差点から望む名古屋駅高層ビル群
ルーセントアベニューのネコ
- 13 長良橋から望む夜明けの名古屋駅高層ビル群
矢場ブリッジと銀杏
- 14 鶴舞公園奏楽堂の夕景
禅隆寺の紅葉
- 15 秋の揚輝荘(北園)
桃巖寺参道の青もみじ
- 16 植田の桜並木
牧野ヶ池緑地の竹林
- 17 御陵橋ごりょうばしから望む堀川の夕景と屋形船
御陵橋から望む春の堀川
- 18 夜の南極観測船ふじと名古屋港ポートビル
成海神社の鳥居
- 19 宵闇の東海道-有松-
初夏の熊野社
- 20 荒子川公園の桜並木
荒子川フェニックスアイランドから見た桜
- 21 庄内川堤防から望む朝日と名古屋駅高層ビル群
戸田川緑地公園南地区芝生広場の河津桜

- 24 まちなみデザイン賞 受賞物件紹介

- 26 まちなみデザイン20選 選定風景紹介

- 28 位置図

まちなみデザイン賞

公募の中から、良好な風景・まちなみに貢献している
「建築物・広告物・まちづくり活動等」を、
有識者懇談会の意見を踏まえて選定しました。



名古屋
まちなみ
デザイン
セレクション

NAGOYA Machinami Design Selection

まちなみデザイン賞 | 建築物・工作物部門

中川運河にぎわいゾーンの建築物群 バーミキュラ ビレッジ



■ 所有者
愛知ドビー株式会社

■ 設計者
株式会社山本堀アーキテクト

■ 完成時期
2019年11月

■ 概要
事務所・店舗:地上3階
飲食店:地上2階
いずれもRC造一部S造

■ 講評

1960年代をピークに物流の役割を終えた中川運河では、この1年ほどで沿岸に幾つかの施設が完成し、にわかに再生の息吹を感じるようになった。その代表とも言えるのがこの建築であり、運河景観を眺める立体的空間と共に、運河から見た水辺景観も魅力的である。素材感や細部に至るまで建築の質が高く、何よりすでに多くの市民が集まる場となっている。所有者や設計者だけでなく、これまで運河再生に地道に取り組んできた市民団体・大学等の役割も大きかっただろう。

【太幡 英亮】

■ 所在地 中川区中川運河北幹線



100m

まちなみデザイン賞 | 建築物・工作物部門

中川運河にぎわいゾーンの建築物群
岡谷鋼機株式会社
中川配送センター



■ 所有者
岡谷鋼機株式会社

■ 設計者
株式会社竹中工務店名古屋支店

■ 完成時期
2019年11月

■ 概要
倉庫:地上2階、S造

■ 講評

中川運河再生計画は平成24年に策定され、近年、ようやくにぎわいのある街並み景観になってきた。現在の岡谷鋼機の中川配送センターは、通常の搬出入は西側道路から行われているが、建て替えにあたり運河側を、竣工当時の倉庫群を想起させる大きな扉と庇のある外観にしたことで、運河沿いの景観を向上させている。中川運河のにぎわいゾーンも再生の取り組みの途中ではあるが、今後、運河沿いを歩けるようになり、魅力的な水辺空間として再生することを期待したい。

【中井 孝幸】



ソーネOZONEのサイン



■ 広告主
社会福祉法人共生福祉会

■ デザイナー
株式会社iop都市文化創造研究所

■ 設計者
合同会社住まい・
まちづくりデザインワークス

■ 講評

可愛くて親しみのあるロゴマークに惹かれた。サインデザインと施設デザインのバランスも良く、つい入りたくなるデザイン。屋内のカフェサインは鉄製に見えるが実は柔らかい素材でコスト面、安全面も工夫されていると感じた。屋根の形とロゴがリンクして目に心地良く、視察日は雨だったが沢山の人が楽しそうに過ごしていたのが印象的。サインと建築と使う人が同じ方向、同じ熱量を持っていることの大切さを教えてもらえる好例だ。

【平井 秀和】

■ 所在地 北区山田二丁目



100m

まちなみデザイン賞 | 景観まちづくり部門

なごのキャンパス



■ 活動団体
なごのキャンパス

■ 管理者
東和不動産株式会社

■ 設計者
株式会社OpenA

■ 概要
「産業・知的資産を活かした創造」等を目的とし、100年の歴史を持つ旧那古野小学校をインキュベーション施設として再生。地域に開かれた交流拠点として活動している。

■ 講評

旧那古野小学校を新たな産業・ベンチャーを育成する場へとリノベーションした〈なごのキャンパス〉は、これまで塀で閉じられていた小学校をまちへ開くことによってまちに新たな回遊性を与え、単なる改修を超えた貴重な場を那古野界隈にもたらしめている。集まったベンチャー企業が会社の枠を超えて体育館を利用したクラブ活動を展開させ、給食室を改修した食堂がまちの新たな出会いの場となるなど、近代の効率優先社会では考えられなかった新たなコミュニティを生み出しつつある姿は、まちの明るい未来を予感させてくれる。

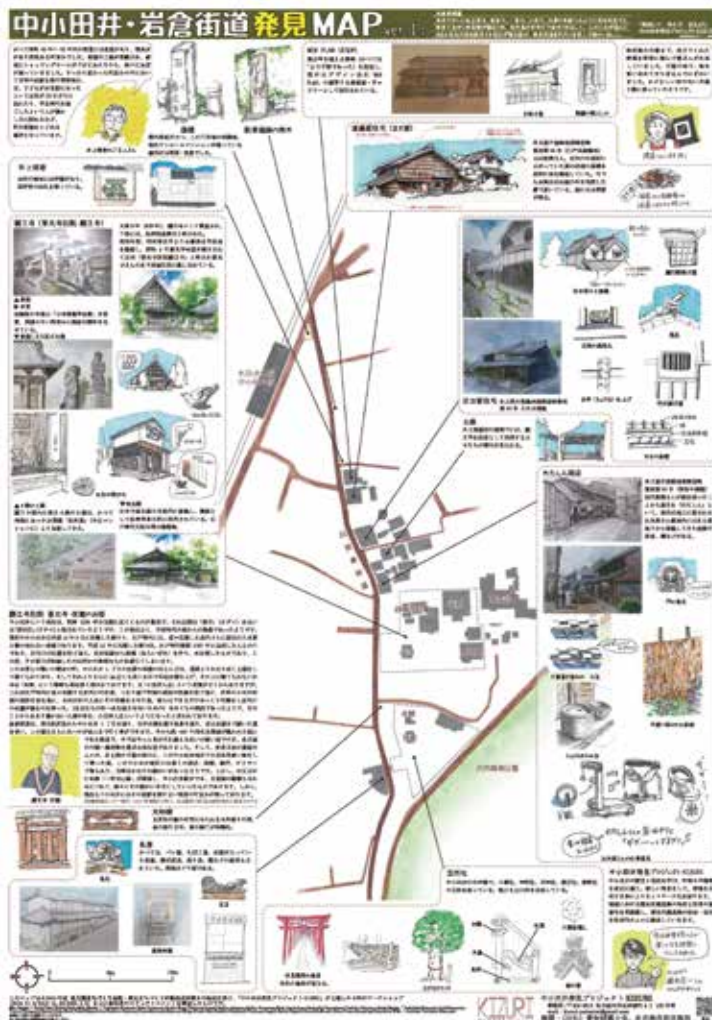
【中村 研一】

■ 所在地 西区那古野二丁目



50m

中小田井を「発見して、学んで、伝えよう」



■ 活動団体

中小田井発見プロジェクトKizuri

■ 概要

西区中小田井の岩倉街道沿いの歴史や特色を活かしたまちのにぎわいの活性と保存を目的としたマップを作成。本取組をきっかけとして、地元の方も参加するNPO法人を立ち上げ、古民家再生の検討を始めるなど、継続した取組に発展している。

■ 講評

まちは時代とともに変わりゆくもの。たとえ昔と今が変わっていても、人の心にはまちの記憶が残されている。9世紀にはすでに集落があり、野菜を運ぶ街道沿いに発展した中小田井には、かつての繁栄を想像させる土蔵や町家が建ち並ぶ。中小田井の過去と現在を結び、人々の記憶の糸をつなげて、未来へと紡ぐために、民間のプロジェクトとして始まった。中小田井が名古屋の宝として存続するためにも今後も注目し続けたいプロジェクトである。

【近藤 マリコ】

■ 所在地 西区中小田井一丁目



まちなみデザイン賞

ファイナリスト 〈最終選考対象物件〉

愛知学院大学 名城公園キャンパス

- 所有者
学校法人愛知学院
- 設計者
株式会社大建設計名古屋事務所
- 所在地
北区名城三丁目



広見憩いの杜

- 所有者
名古屋市上下水道局
- 設計者
名古屋市上下水道局
- 所在地
中川区広住町

SAKUMACHI商店街の 街づくり、企画設計施工

- 所有者
名古屋鉄道株式会社
- 設計者
エイトデザイン株式会社
- 所在地
北区大杉一丁目・清水二丁目

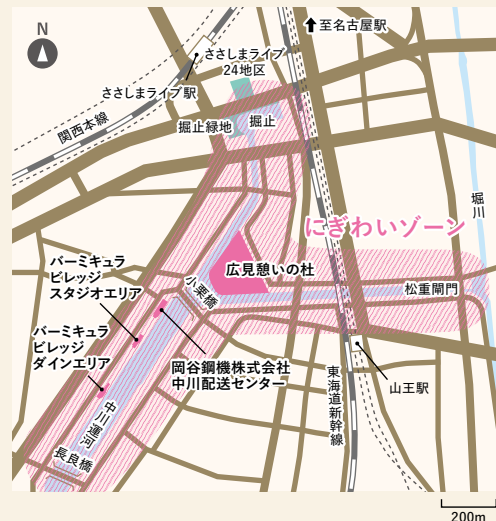
トピックス

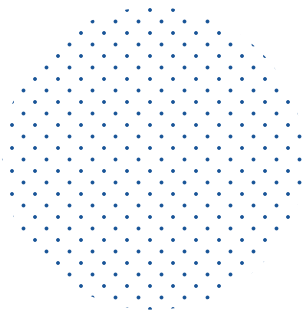
中川運河にぎわいゾーン

コラム
column

中川運河は、港と名古屋駅を結ぶ水運物流の軸として開削され1930年の供用以来名古屋の経済・産業の発展を支えましたが1964年をピークに物流機能は縮小しています。都市の広大な水辺で歴史的風情も残す特徴を活かし、新たな価値や役割による再生を目指して「中川運河再生計画」を策定して取り組んでいます。

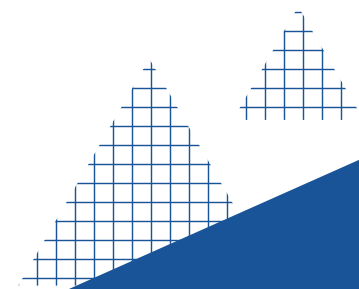
名古屋駅やささしまライブ24地区に隣接する「にぎわいゾーン」は、「港と文化を感じる都心のオアシスの形成」を目指して、水上交通の運行、にぎわい施設の誘導、水質改善等を行っており、今後さらに水辺活用や回遊性向上に向けプロムナードの整備等の取組みを進めてまいります。





まちなみデザイン20選

投稿いただいた中から、市民の皆さんが
「好き・大切にしたい」風景・まちなみを
市民投票により選定しました。



名古屋
まちなみ
デザイン
セレクション

NAGOYA Machinami Design Selection



まちなみデザイン20選

那古野交差点から望む 名古屋駅高層ビル群

名古屋駅と歴史的な風情を残す那古野地区との中間に位置する那古野交差点付近からは、名古屋駅前に林立する高層ビル群を一望に収める眺めが広がる。黄昏になるとビルの明かりが華やかに灯り、都市の活力とにぎわいを一層感じることができる。

平成12年度名古屋市都市景観賞受賞(JRセントラルタワーズ)

■所在地 中村区名駅二丁目



■投稿者 渡邊 翔子 さん

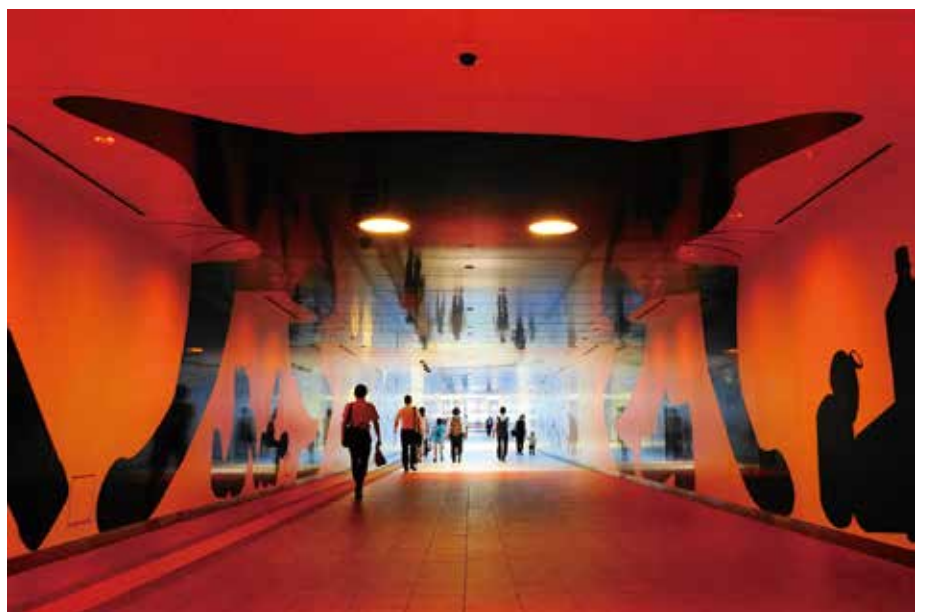
■タイトル 黄昏のスーパーターミナル・なごや!

■コメント リニア中央新幹線の開業を見据え、名駅周辺地区、栄地区が連携して、国際競争力の高い都心部へワクワクします♥

まちなみデザイン20選

ルーセントアベニューの ネコ

■所在地 中村区名駅一丁目



ルーセントアベニューは、名古屋駅から名古屋ルーセントタワーに通じる約290mの地下歩道。牛島南地区の再開発に合わせて歩行者ネットワークを拡充するため整備され、アートを施した質の高い公共空間となっている。様々な明かりの演出、壁・天井・床面の随所に描かれた動物や魚のシルエットを楽しむことができる「A Tale of Stray Kittens-異世界旅行猫絵図-」は minim++ の作品。

■投稿者 安藤 健吉 さん

■タイトル 異空間

■コメント 地下通路を通る人が大きなネコに吸い込まれていくようでした。



まちなみデザイン20選

長良橋から望む 夜明けの名古屋駅 高層ビル群

中川運河は、名古屋港と旧国鉄笹島貨物駅とを結ぶ運河として昭和7(1932)年に全線開通し、「東洋一の大運河」とうたわれた。都心近くながら開放的な眺めが広がり、穏やかな水面には、名古屋駅の高層ビル群が映る。近年は、水上交通の継続的な運航に向けた取り組みや水面を活用したアートなど、さまざまな取り組みが行われ、今後一層の魅力向上が期待される。

■所在地 中川区舟戸町



■投稿者 畢生の旅人さん

■タイトル 夜明けの中川運河

■コメント たまに夜景を撮りに来る場所です。早朝は初めてでしたが朝陽を浴びた中川運河も綺麗でした。

まちなみデザイン20選

矢場ブリッジと銀杏

■所在地 中区大須四丁目



戦災からの復興にあたって整備された2本の100m道路のうち、東西に走るのが若宮大通である。平成元(1989)年には市制100周年を記念して若宮大通公園の総合整備が行われる中で、矢場ブリッジが整備された。高速道路に沿って東西4kmに渡り植えられたイチョウヤトウカエデの並木が、紅葉のシーズンには鮮やかに色づく。

■投稿者 大井 敏裕さん

■タイトル 銀杏シャワー

■コメント 大津通*若宮大通交差点にかかる歩道橋東にある銀杏。ピークにはシャワーのように葉が降り注いでいました。この歩道橋は利用者が少ないようで、モダンな街並みとの組み合わせが新鮮な穴場です。



まちなみデザイン20選

鶴舞公園奏楽堂の夕景

奏楽堂は明治43(1910)年、第10回関西府県連合共進会の際に建てられたルネッサンス様式の円形の建物で、設計は名古屋近代建築の先駆者である鈴木禎次。昭和初期の台風で崩壊したため、平の屋根を備えた形で再建されたが、当初の姿に戻したいとの声が強く、平成9(1997)年に復元された。

■投稿者 佐々基成さん

■タイトル 夕景

■コメント 「鶴舞公園」のシンボル「奏楽堂」は、イタリアルネッサンス風の建物です。西空に沈む夕日で、空が茜色に染まり公園の一日の終わりを告げていました。

■所在地 昭和三十九年鶴舞一丁目



まちなみデザイン20選

禅隆寺の紅葉

東区飯田町の臨済宗妙心寺派・禅隆寺は、元和9(1623)年に尾張徳川家初代藩主義直公より寺地を拝領し創建された。本堂は戦災で焼失したが、山門、観音堂は、創建当時のものが残されている。本堂内部の喚鐘は尾張藩の鋳物師の総括をつとめた水野家の作とされる。庭には「山水菩薩庭園」と名付けられた枯山水の庭園がある。紅葉の見頃は例年11月末から12月初め。名古屋市登録地域建造物資産

■所在地 東区飯田町



■投稿者 yoko ookadoさん

■タイトル 街中にある隠れた紅葉名所

■コメント すぐ横を外堀通が走り、マンションやビルに囲まれた中にあるお寺ですが、紅葉の時期は、賑やかな道路から境内を覗くだけでも、一瞬で別世界と感じる程の紅葉です。広くはないですが、そこにいと、街の騒音やすぐ横に建つビルなどの存在を忘れてしまいます。



揚輝荘は、大正から昭和初期にかけて建設された(株)松坂屋初代社長の別荘で、名古屋市郊外別荘の代表作。この地が月見の名所であったことから、漢詩の一節「秋月揚明輝」から命名されたといわれる。現在残る北園と南園は、平成19(2007)年に名古屋市に寄附された。北園の庭園は、京都の修学院離宮の影響を受けたとされる池泉回遊式庭園で、山桜、新緑、紅葉、落葉と四季折々の景色が楽しめる。

- 投稿者 佐々基成さん
- タイトル 紅葉
- コメント

「揚輝荘北園」は、大正から昭和初期に松坂屋15代社長「伊藤次郎左衛門祐民」の別荘として建設されました。池泉をめぐる地形や周囲の自然を活かして造られています。又、建築的・歴史的価値の高い建物でもあります。秋の紅葉は必見です。

まちなみデザイン20選

秋の揚輝荘(北園)

■所在地 千種区法王町二丁目



まちなみデザイン20選

桃巖寺参道の青もみじ

織田信秀の菩提寺である曹洞宗・桃巖寺。信秀が所有していたと伝わる辯天画像や竹生島から勧請した十五童子像を守護神として祀る。四谷通から境内へ続く参道を進むと、紅の不老門とともに、新緑の時期には青もみじ、秋には赤く色づく紅葉が楽しめる。

■所在地 千種区四谷通二丁目



- 投稿者 佐々基成さん
- タイトル 青モミジ
- コメント

「桃巖寺」は、末森城主でありました織田信秀公(信長の父)の菩提を弔うために建立されたお寺です。境内には信秀公の廟所を始め多くの寺宝があります。初夏には目に染みる青モミジが、晩秋には燃えるような紅葉寺となります。



まちなみデザイン20選

植田の桜並木



天白区の中ほどを南北に貫く植田線には約230本に及ぶ桜並木が続く。住民の多額の私財を投じて植えられたこともあり、地元から非常に愛されている。春には、見事な桜のトンネルが道行く人を楽しませる。

■所在地 天白区植田本町三丁目



■投稿者 大井 敏裕さん

■タイトル 桜のトンネル - 植田

■コメント 春になると、クルマのスピードが落ちる(?)定番の桜のトンネル。ピークに向かう坂道がトンネル感を増してくれる。朝日の差す時間帯がおすすめです。

まちなみデザイン20選

牧野ヶ池緑地の竹林



■所在地 天白区天白町大字植田



牧野ヶ池緑地は名古屋市東部に残された広大な自然環境を生かした都市公園。その南西部に位置する「竹の小径」は、両側に竹に挟まれた全長約1,300mの散策路。公募された市民団体による竹林整備活動のほか、市民参加によるタケノコ堀りや間伐なども行われる。公園名称の由来となる「牧野ヶ池」は、正保3(1646)年に灌漑用として作られたため池。池の用水を利用して作った付近の田んぼを「牧田」と呼んだことから命名されたといわれる。

■投稿者 大井 敏裕さん

■タイトル 竹の小径(こみち)・牧野が池緑地

■コメント 移動自粛で行けない京都の竹林にかわり、簡単に行ける名古屋の竹林です。愛知カンツリー倶楽部とR302に挟まれた緑地の一角。



まちなみデザイン20選

ごりょうばし
御陵橋から望む
堀川の夕景と屋形船

名古屋を南北に貫く堀川は、下流部では川幅が広く流れが緩やかであり、河川景観の水面への映り込みが楽しめる。朝日橋、五条橋、納屋橋、白鳥、宮の渡しなどから乗降できる屋形船では新年会など様々な行事が行われ、人々から親しまれている。

■ 投稿者 井澤 知旦さん

■ タイトル 暮れなずむ堀川をすすむ屋形船の波模様

■ コメント 堀川の遠景は夕焼け、近景は夕暮れというグラディエーション。左岸(右)はマンション群と街路の灯り、右岸(左)は国際会議場と公園の灯り。それらの対比を背景に屋形船が美しい波模様を描きながら静かに堀川をくだる。絶景かな!

■ 所在地 熱田区熱田西町



まちなみデザイン20選

御陵橋から望む
春の堀川



■ 所在地 熱田区熱田西町



かつて大規模な貯木場であった白鳥庭園から国際会議場に至る一帯の堀川沿岸は、世界デザイン博覧会後の平成初期に白鳥プロムナードとして整備された。江戸時代に描かれた名古屋名所団扇絵「堀川花盛り」にみられるような桜並木の再現をテーマとして、遊歩道整備に合わせて桜を植樹。3月下旬～4月上旬に見頃を迎える桜の名所としても親しまれている。

■ 投稿者 MYさん

■ タイトル 桜咲く堀川

■ コメント 白鳥庭園を訪れて楽しんだ後、いつもこの場所から堀川上流を眺めます。訪れるたび四季折々の景色に心惹かれます。国際会議場や名古屋駅の高層ビル、空、川など素敵です。



まちなみデザイン20選

夜の南極観測船ふじと 名古屋港ポートビル

名古屋港水族館や名古屋海洋博物館が立地する名古屋港ガーデンふ頭は、明治40(1907)年開港の名古屋港発祥の地。ふ頭に係留されている「南極観測船ふじ」は、日本初となる極地用の本格的な砕氷艦で、昭和59(1984)年に退役し、南極観測に関する博物館として展示されている。名古屋港ポートビルは白い帆船をイメージした外観で名古屋港のランドマークとなっている。最上階の展望室からは名古屋港を一望することができる。昭和59年度名古屋市都市景観賞(名古屋港ポートビル)

■所在地 港区港町



■投稿者 畢生の旅人さん

■タイトル 名古屋港と月

■コメント 一番よくカメラを持って行く場所です。名古屋港は心が落ち着く所です。

まちなみデザイン20選

成海神社の鳥居

鳴海という地名の起源であると考えられている「成海郷(奈良時代)」の名を現在にとどめる成海神社。朱鳥元(686)年に日本武尊の縁起により創建されたといわれ、当初は今より南の扇川に面した天神山に鎮座していたが、桶狭間の戦いにおいて重要な拠点にもなった鳴海城の築城のため、現在の位置に移設された。10月秋の例祭では、日本武尊の伝承から御船流神事が行われる。

■所在地 緑区鳴海町乙子山



■投稿者 中田 智之さん

■タイトル 成海神社

■コメント 創建が686年。こんなに由緒ある神社が緑区にはあります。緑区だけでなく、名古屋市内でも最も歴史のある神社のひとつではないでしょうか。江戸時代には松尾芭蕉が訪れた事もあるそう。境内の横にはズラッと並ぶ奉納鳥居が見応え十分。我が家はここ成海神社で七五三のお参りをしました。そしてお参りの後は、神社近くにある和菓子屋さん「山田餅」のおまんじゅうが最高!緑区東部にある熊野社とはまた違う雰囲気、由緒ある素晴らしい神社です。



まちなみデザイン20選

宵闇の東海道-有松-

有松は、慶長13(1608)年、東海道池鯉鮒(ちりゅう)宿と鳴海宿の間に開かれた。旅人相手の土産物として考案された絞り染めは尾張藩を通じて将軍家にも献上され、格別の評価を得たという。豪壮な絞商の主屋などの伝統的な建物がこの町並みは平成28(2016)年に重要伝統的建造物群保存地区に選定され、有松の文化・伝統を語るストーリーは令和元(2019)年に日本遺産に認定された。

- 投稿者 畢生の旅人さん
- タイトル 宵闇の東海道
- コメント 何百年も昔から幾多の人々がここを通ったと思うと歴史の重みを感じます。

■所在地 緑区有松



まちなみデザイン20選

初夏の熊野社

緑区熊の前にある熊野社。旧字名である神ノ倉(かんのくら)の由来は、この神社のある山が、神の鎮まる御神座(みかみくら)の山と呼ばれたことによる。一帯は尾張藩の御林であったが、今も豊かな緑が広がる。参道入口に正観音堂があり、「右あすけ道」「左くまの権現道」の道しるべが残る。

■所在地 緑区熊の前二丁目



- 投稿者 中田 智之さん
- タイトル 熊野社
- コメント

ここは名古屋か?と思えるような木が生い茂る里山の上に建つ神社です。そばに流れる扇川と関係が深いそうです。非常に長い石段の先に境内があります。この長くて立派な石段は、名古屋市内では他に見られないのではないのでしょうか。成海神社と並んで、緑区屈指のとても雰囲気のある神社です。そして、実はこの神社にはひとつ秘密があります。境内からさらに奥に、素敵なお顔の毘沙門天像が鎮座されているのですが…。そこは緑区内で最も標高の高い場所。発見できるでしょうか。勇気のある方はぜひ探してみてください。新しい発見に感動するでしょう。



まちなみデザイン20選

荒子川公園の桜並木

中川区八田町の八田公園付近に発し名古屋港に至る荒子川の下流に位置する荒子川公園。毎年3月下旬から4月上旬には約1,000本の桜が見頃を迎え、荒子川の両岸約1kmにわたって咲き乱れる圧巻の桜のトンネルは必見。荒子川公園さくらまつりでは例年、様々なイベントが開催され、家族連れなどが多く訪れる。

■所在地 港区十一屋一丁目



■投稿者 伊藤 早苗さん

■タイトル cherry blossom tree road

■コメント カップルが楽しそうに大きな桜並木のある川沿いの長い道。

まちなみデザイン20選

荒子川 フェニックスアイランド から見た桜

■所在地 港区十一屋一丁目



荒子川公園を代表する花のひとつである桜は、荒子川の両岸に植えられ、荒子川、桜並木、あおなみ線を走る電車のコラボレーションはこの公園ならではの景観。荒子川公園の中に位置する人工の島「フェニックスアイランド」は、水と緑に囲まれた憩いの場として整備され、周囲に植えられた、フェニックス、ワシントンヤシ、ソテツなどが異国情緒を醸す。

■投稿者 川端 安利さん

■タイトル 桜、満開ッ!

■コメント 名古屋の「歩きたくなるまちなみ」荒子川公園の散歩コースの中で毎年出会える景色です。風のない穏やかな日差しの中ではまるで絵画の中にいるようです。



まちなみデザイン20選

庄内川堤防から望む 朝日と名古屋駅 高層ビル群

庄内川は岐阜県恵那市に源を発し、名古屋市の北部から西部にかけて流れ伊勢湾に注ぐ。河川敷には公園や緑地が多く、市民の憩いの場となっている。堤防からは、開放的な眺めが広がる。眼下には滔々とした川の流れとヨシ原、遠くには名古屋駅の高層ビル群を見通すことができ、豊かな自然と都市的な景観を楽しむことができる。

■所在地 中川区富田町大字万場



200m

- 投稿者 三井 涼介さん
- タイトル 朝日の見える散歩道
- コメント 庄内川の堤防から名駅ビル群と綺麗な朝日を見る事ができます。

まちなみデザイン20選

戸田川緑地公園南地区 芝生広場の河津桜

■所在地 港区春田野二丁目



100m



戸田川兩岸に南北約2.5Kmにわたって広がる戸田川緑地は、名古屋市西南部で最大規模の公園。戸田川緑地には約1,100本の桜が植わっており、3月上旬に開花するカワヅザクラを始めとして、カンヒザクラ、ソメイヨシノ、サトザクラと4月下旬まで、桜の花のリレーを楽しめる。公園の南地区は、隣接する農業公園と一体で「陽の郷(ひなたのさと)」の愛称で親しまれている。

- 投稿者 伊藤 早苗さん
- タイトル spring park
- コメント まだ寒さを感じる時の河津桜、青空はあたたかい気持ちにさせてくれる。

まちなみデザイン賞
まちなみデザイン20選

受賞物件・選定風景紹介

2013-2019

まちなみデザイン賞 受賞物件紹介

2013

(第1回)



東山の森
「里山の家」と「くらしの森」
千種区東明町七丁目



納屋橋CUBES
中村区名駅五丁目



桜通のイチョウ並木
中村区名駅五丁目～
中区錦一丁目

2015

(第2回)



太洋ビル
東区代官町



ナナちゃん人形
中村区名駅一丁目



**公共空間の利活用を通じた
まちづくり社会実験**
名古屋駅地区(中村区、西区)

2017

(第3回)



高針の丘にある蓮教寺
名東区高針四丁目



**米野ふれあいサロン「なかよし」
—寛家住宅—**
中村区下米野町



大名古屋ビルヂング
中村区名駅三丁目

2019

(第4回)



撮影:谷川ヒロシ

LT城西2
西区城西三丁目



撮影:エヌエス名古屋

グローバルゲート
中村区平池町四丁目
(ささしまライブ24土地
区画整理事業区域内)



料亭か茂免の白壁
東区白壁四丁目



村上社のクスノキ
南区楠町



総合病院 南生協病院
緑区南大高二丁目



ヒルズウォーク徳重ガーデンズ、
交通広場・テラス広場及び
ユメリア徳重
緑区元徳重一丁目



撮影: 怡土鉄夫
提供: あいちトリエンナーレ実行委員会

伏見地下街出入口・
長者町ブループリント
中区錦二丁目



BLUE BLUE NAGOYAの
建物の緑化
中区栄三丁目



愛知時計電機株式会社
新事務棟
熱田区千年一丁目

旧南大津通三丁目の小路
※私道のため写真掲載なし



緑豊かな庄内緑地の朝
西区山田町



堀川散歩 錦橋から納屋橋
中区錦一丁目・
中村区名駅五丁目



個性なお祭りやお店で
活気づく覚王山
千種区山門町



印傳屋名古屋御園店のサイン
中区栄一丁目



ランブライトブックスホテル
名古屋のサイン
中区錦一丁目



SOCIAL TOWER PROJECT



名古屋折り紙建築

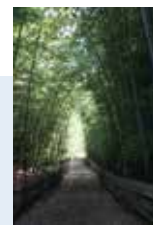


街茶MACHI-CHA

まちなみデザイン20選 選定風景紹介

2013

(第1回)



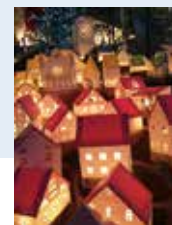
2015

(第2回)



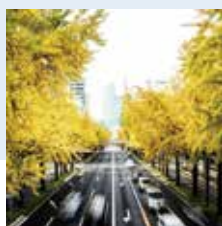
2017

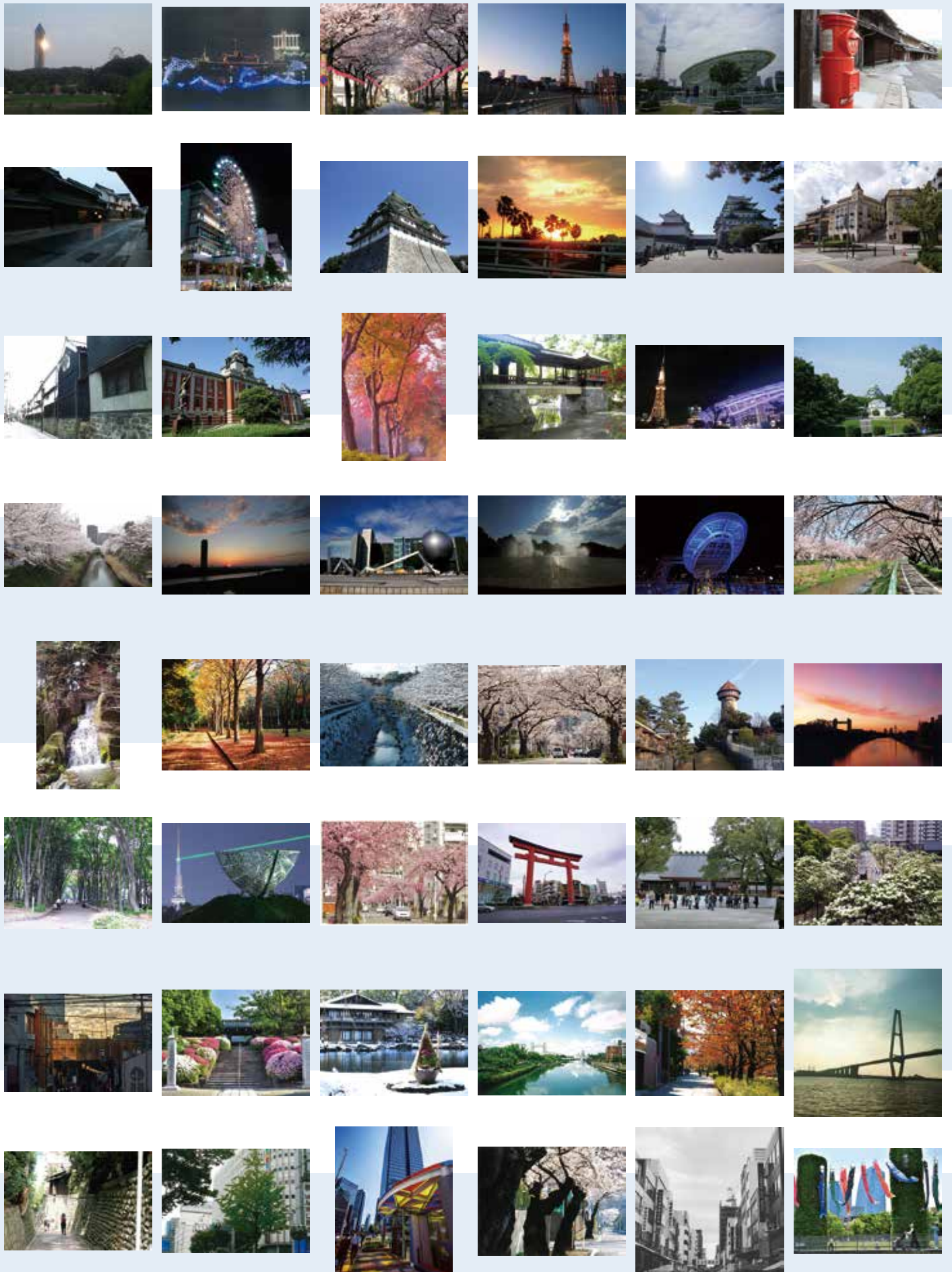
(第3回)



2019

(第4回)





位置図





◇ 1 ~ 5 まちなみデザイン賞

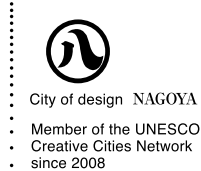
- 1 パーミキュラ ビレッジ
- 2 岡谷鋼機株式会社 中川配送センター
- 3 ソーネÖZONEのサイン
- 4 なごのキャンパス
- 5 中小田井を「発見して、学んで、伝えよう」

① ~ ②⑩ まちなみデザイン20選

- 1 那古野交差点から望む名古屋駅高層ビル群
- 2 ルーセントアベニューのネコ
- 3 長良橋から望む夜明けの名古屋駅高層ビル群
- 4 矢場ブリッジと銀杏
- 5 鶴舞公園奏楽堂の夕景
- 6 禅隆寺の紅葉
- 7 秋の揚輝荘(北園)
- 8 桃巖寺参道の青もみじ
- 9 植田の桜並木
- 10 牧野ヶ池緑地の竹林
- 11 御陵橋(ごりょうばし)から望む堀川の夕景と屋形船
- 12 御陵橋から望む春の堀川
- 13 夜の南極観測船ふじと名古屋港ポートビル
- 14 成海神社の鳥居
- 15 宵闇の東海道-有松-
- 16 初夏の熊野社
- 17 荒子川公園の桜並木
- 18 荒子川フェニックスアイランドから見た桜
- 19 庄内川堤防から望む朝日と名古屋駅高層ビル群
- 20 戸田川緑地公園南地区芝生広場の河津桜



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



主催 |  名古屋市(住宅都市局都市計画部都市景観室)
TEL:052-972-2732 FAX:052-972-4485
MAIL:machinami@jutakutoshi.city.nagoya.lg.jp

共催 | 公益財団法人 名古屋まちづくり公社

協力 | 愛知県広告美術業協同組合、一般社団法人 愛知広告協会、
株式会社 国際デザインセンター、公益財団法人 名古屋観光コンベンションビューロー、
公益社団法人 愛知建築士会、中部デザイン団体協議会 (50音順)

発行 | 令和3年1月